

5年—Unit 9

単元名

Who is your hero?

あこがれの人

1. 単元目標

- ・得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Who is your hero? This is my hero. [He / She] is good at (playing tennis). [He / She] is a good (tennis player). [He / She] can (cook well). [He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].
 - hero, flute, family, 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough), fox, yak, zebra, zoo
- [既出] 状態・気持ち, 動作, スポーツ, 日課, 職業, 家族

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆得意なことの表現の仕方が分かる。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.66, 67</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を視聴し、自分にとってのヒーロー/ヒロインについて話すのを聞き、分かったことを発表する。 <p>【Let's Listen 1】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が、何が得意かを聞いて、線で結ぶ。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、得意かどうかを尋ね合う。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線上に小文字を書く。(a~e) 	◎得意なことの表し方が分かり、線で結んでいる。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
2	<p>◆第3者のできることを含めた話を聞いて分かるとともに、できることを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 校内の先生</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.66, 67 後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後半の映像を視聴し、分かったことを誌面に書く。 <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>【Let's Play 1】 p.71</p>	◎第3者ができることなどの話を聞いて内容が分かり、聞き取ったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
		◎できることを尋ねたり答えたりしてい

	<p>・ペアで誌面イラストをヒントに質問をして、相手のことを知る。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・文を書き写したり、例を参考に英文を完成させたりする。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線の上に小文字を書く。(f~j)</p>	る。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	<p>◆第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.68</p> <p>・音声を聞いて、登場人物と、得意なことやできることのイラストを線で結ぶ。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>○どの先生のことかを考えて答えよう。</p> <p>・指導者の話を聞き、だれのことかを考えて当てる。</p> <p>【Let's Play 2】 p.71</p> <p>・前時に Let's Play 1 で友達にインタビューして分かったことを、別の友達と伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・あこがれる人が得意なことを選んで4線に書き写す。ペアの人を相手に、文を声に出して読む(発音する)。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線の上に小文字を書く。(k~o)</p>	<p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート分析〉</p>
4	<p>◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk : 校内の先生</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Let's Listen 3】 p.69</p> <p>・音声を聞いて、聞き取ったことを記入する。</p> <p>【Activity 1】 p.69</p> <p>・自分ができること、得意なことを含めてペアで伝え合い、その内容を誌面に記入する。</p> <p>・誌面に記入したペアの相手のことについて、別の友達と伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・あこがれの人がどんな人かを選んで書き写す。ペアの人を相手に、文を声に出して読む。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線の上に小文字を書く。(p~t)</p>	<p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Let's Listen 4】 p.70</p> <p>・先生の大切な人やあこがれの人について聞き、分かったことを書く。</p> <p>【Activity 1】 p.69</p> <p>・前時とは別のペアを相手に、自分ができること、得意なことを含めて伝え合い、その内容を誌面に記入する。</p> <p>・誌面に記入したペアの相手のことについて、別の友達と伝え合う。</p>	<p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観</p>

	<p>【Let's Listen 5】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の紹介を聞き、分かったことをメモに取り、発表する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい人のことを、例を参考にしながら書く。ペアの人を相手に、文を声に出して読む。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線上に小文字を書く。(u~z) 	<p>察・記述観察・振り返りカード点検</p>
6	<p>◆あこがれの人の話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。</p> <p>◆自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。</p> <p>○Small Talk：家族や友達</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が自分のヒーローを紹介する音声を聞き、内容を理解する。指導者の質問に答える形で、理解した内容を確認する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに書いたワークシートをもとにスピーチ内容を見直し、話す文の順番を変えたり新しい文を加えた上で、書き写す(清書する)。 <p>【STORY TIME】 Unit 1~3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを聞く。 	<p>◎あこがれの人の話を聞き、できることや得意なことなど、どのような人かが分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を、相手に伝える目的をもち語順に注意しながら書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>○誰のことかを考えて答える。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で映し出された英文を、音声が続いて読む。清書した英文をペアで読み合う。 <p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、家族や友達など、自分のヒーローを紹介し合う。 <p>【STORY TIME】 Unit 4~6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を目で追いながら読み聞かせを聞き、絵などを参考に推測できる単語は一緒に読む。 	<p>◎自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えようとする。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のヒーローを紹介する。聞いている児童は、聞き取れたことをメモしたり、話者のどんな点がよかったかを記入したりする。 <p>【STORY TIME】 Unit 7~9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせに合わせて、台詞や繰り返し音声で慣れ親しんだ文と一緒に読む。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの文字の読み方には、名称のほかにも音があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉

5年 Unit 9—Lesson 1	単元名 Who is your hero?	あこがれの人	1/8 時間
目 標 得意なことの表現の仕方が分かる。			
準 備 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), ワークシート (Unit 9-6), デジタル教材, 振り返しカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
25分	<p>・挨拶をする。</p> <p>[Let's Watch and Think] p.66, 67</p> <p>・雑誌の表紙から連想した登場人物にとってのヒーローについて話している映像資料を視聴し, 分かったことを誌面に書く。</p> <p>・できることや得意なことの表し方に気付き, 単元終末の活動への見通しをもつ。</p> <p>・2回程度繰り返し聞いた後, 答えを確認する。</p> <p>・指導者や映像資料でヒーローの紹介を聞いたり, 視聴したりし, 単元最後に紹介したいヒーローを考える。</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・視聴の前に, 児童と一緒に誌面にある雑誌の表紙を見ながら質問する。</p> <p>What do you see in the picture?</p> <p>・雑誌 Computers, Sports, Cooking Book の3種類の映像を視聴して聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて, 児童に質問して確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: Who is Saki's hero? Ms. ...? She is a ...? She can ...? She is ...? She is good at playing the ...? She can ...? She is ...?</p> </div> <p>・既習の can に加えて, 何度も good at ~ という言葉が出てくることに気付かせ, 学級の児童の例などを挙げながら, それが「得意である」という意味であることを捉えさせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What can you hear? Good at? S1 is good at S2 is good at I'm good at ... S3, are you good at ... ?</p> </div> <p>・児童が聞き取った言葉を, なるべく文のレベルで確認する。What can you hear? Music? Yes, he is good at music.</p> <p>・児童が本単元の終末での活動の見通しをもてるようにする。また, 最後に紹介したい自分のヒーローを次時まで決めておくように告げる。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (動作) 児童用カード (動作)</p>
	<p>・指導者の質問に答える。 Yes, I am. No, I'm not.</p>	<p>・5人のヒーロー紹介で出てきた, 得意なことも含めた様々なことについて, その絵カードを見せながら児童に得意かどうかを尋ねる。</p> <p>・児童の答えに応じて, 児童の答えを You are good at ~. で繰り返す。この活動のねらいは, 児童に You are good at ~. Are you good at ~? Yes, I am. / No, I'm not. の表現を何度も聞かせたり言わせた</p>	

		<p>りすることである。 Are you good at music / playing the recorder / cooking / swimming / playing baseball / singing? You are good at ~. Great. You aren't good at ~. That's OK.</p>	
	<p>【Let's Listen 1】 p.68 ・デジタル教材で音声聞いて、誌面の登場人物と動作の絵とを線で結ぶ。</p> <p>OLet's Talk ・Let's Listen 2にある8種類の動作について、ペアで得意かどうかを尋ね合う。</p>	<p>・答えの確認をした後、誌面にある動作について児童数名に Are you good at ~? と問いかけ、この表現の使い方を理解させるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 先生 : Satoshi, are you good at playing the piano? さとし : No, I'm not. I'm good at cooking. 先生 : That's good.</p> <p>2. 先生 : Laksh, are you good at swimming? ラクシュ : Yes, I am. I'm good at doing judo. 先生 : Wow, fantastic.</p> <p>3. 先生 : John, are you good at playing volleyball? ジョン : Yes, I am. I'm also good at swimming and cooking.</p> </div> <p>◎得意なことの表し方が分かり、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ・ペア同士で、8種類の動作について相手が得意かどうか予想を立てた上で、尋ね合わせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
12分	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p> </div>	<p>・まずチャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたか発表させる。 ・聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。ゆっくりバージョンから始めるようにする。</p>	デジタル教材
5分	<p>OSounds and Letters ・p.74,75の Sounds and Lettersを開き、ジングルを1通り聞く。 ・同じ言葉で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。</p>	<p>・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) ・最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(a から e で始まる単語)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p> </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-6)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・本単元最後に紹介したい自分のヒーローを次時まで決めておくことを確認する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 2 単元名 Who is your hero? あこがれの人 2/8時間
 目 標 第3者のできることを含めた話を聞いて分かるとともに、できることを尋ねたり答えたりすることができる。
 準 備 校内の先生の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード (動作), ワークシート (Unit 9-1, 9-2, 9-7), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk: 校内の先生</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	校内の先生の写真など ※写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。
<p>Small Talk の例</p> <p>Itani <i>sensei</i> is a nice teacher. She is good at music. Are you good at music? She can play the piano well. She can sing well, too. She is good at <i>Enka</i>. She can play basketball well. She is good at shooting. Can you play basketball? She is kind to you and me. She is a nice teacher.</p>			
10分	<p>【Let's Watch and Think】 p.66, 67</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の後半の映像資料を視聴し, 分かったことを誌面に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様にデジタル教材で映像全体を視聴させる。 その後, 後半 (Fashion Magazine, Animals) のみを再度視聴させる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<ul style="list-style-type: none"> My brother is good at computer programming. He is good at music, too. He can make songs on his computer. He is cool. He is my hero. My hero is my teacher, Ms. Tanaka. She can run a full marathon. She is tough. She is good at playing the recorder. She can sing well, too. She is great. My father is good at cooking. He can cook <i>gyoza</i> very well. He is very strong and gentle. I love my father. He is my hero. Wow, beautiful! She is very tall. My sister is tall, too. She is a good basketball player. She can play basketball very well. She is active and kind. She is my hero. Cute dogs! My dog Ken is very cute, too. I always take a walk with Ken. He is a good runner. He can run very fast and he can catch the Frisbee well. He is small and brave. He is my hero. 			
		<ul style="list-style-type: none"> 視聴後, 内容を確認しながら児童に問いかける。 <p>Can you play basketball? Do you have any pets? What pet do you have? What's his / her name? Can ○○ run fast?</p> <p>◎第3者ができることなどの話を聞いて内容が分かり, 聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○デスティニー・ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の例を示す。 	教師用カード (動作)
<p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ペア対抗で行う。ペアで, 児童用カード (Unit 5 動作 play soccer から cook までの 16 枚) を準備し, 各自その中から自分に該当するものを 5 枚ずつ選んで手元に持つ。 教師用カードで, 全員で動作の表現を確認した後, 指導者はその中から 1 枚カードを選んで, Can you play soccer? と問いかける。同じカードを手元にもっている児童は, Yes, I can. I can play soccer. / No, I can't. I can't play soccer. と答えてカードを出す。指導者は質問したカードを黒板に掲示していく。 手持ちのカードが早くなくなった児童が勝ち。なくなれば隣の児童とチームになって協力して進める。 			

12分	<p>【Let's Play 1】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストをヒントにできるだけたくさんの質問をし、相手のことを知る。 ・相手の答えが Yes, I can. の場合は続けて質問できる。No, I can't. の場合は、質問者を交代する。あるいは、3つずつ交代で質問する方法で行う。 ・尋ねて知った、ペアの相手ができることを発表する。He/She can～. 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことをよりよく知るために互いに質問することを伝える。 ・黒板に教師用カードを掲示し表現を確認する。 ・Can you～? という質問に対して、相手が No, I can't. と答えたら、質問者を交代するよう言う。制限時間内にできるだけたくさん質問して、相手のできることを見つめるよう言う。 ◎できることを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・数名の児童に、相手のペアができることできないことを紹介させる。 	児童用テキスト
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で音声を繰り返し聞いて、続いて読む(発音する)。 ・単元終末で紹介したいあこがれの人を決め、文を書き写したり、例を参考に、その人ができることを1つ選んで英文を完成させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、This is my hero. She is my sister. She can play the flute well. の音声を繰り返し聞かせ、音声について読む(発音する)よう言う。 ・ワークシートにある例文を参考に、シート下にあるワードリストから語を選んで文を完成させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 書き写す文例：He / She is (my sister). She / He can (play the flute) well. </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-1, 9-2)
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.74,75の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 ・同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) ・最初の音に注目させ、デジタルでしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(f から j で始まる単語) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」 </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 3	単元名 Who is your hero?	あこがれの人	3/8 時間
目 標 第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりできる。			
準 備 校内の先生を紹介するために使用する写真や教師用カード（動作）、児童用テキスト、ワークシート（Unit 9-1, 9-2, 9-3, 9-8）、デジタル教材、振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Listen 2】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、登場人物の家族と、彼らができること、得意なことのイラストとを線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 デジタル教材を視聴する前に、ひかりの兄や妹、祖父、犬について、Who is he (she)?と児童に尋ね、brother / sister / grandfather / dog という語彙を確認しておく。 得意なことは1つとは限らないが、まずは1つ聞き取るようにさせる。2回目にはさらに集中して聞かせ、聞き取れる語を増やしていくようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>This is my brother. He is good at <i>kendo</i>. He is good at cooking. He is kind to me. I like my brother.</p> <p>This is my sister. She is good at singing. She can run fast. She is nice to me. I like my sister.</p> <p>This is my grandfather. He is good at <i>kendo</i>. He can cook well. He is kind to me. I like my grandfather.</p> <p>This is my pet. He is a dog. He can run fast. He can jump high. He is very gentle. I like my dog.</p>			
10分	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて、速さを変えたり担当するパートを変えたりするなどのバリエーションを付け、何度も聞いたり言ったりさせる。 	デジタル教材
<p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p>		<p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p>	
<p>○どの先生のことかを考えて答えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞き、誰のことかを考えて答える。 		<ul style="list-style-type: none"> チャンツを言った流れで、校内の先生について、できることやできないこと、得意なことを含めて紹介し、それが誰のことかを尋ねる。その際、Unit 5で児童が校内の先生にインタビューして得た結果をもとにするとよい。（各児童のテキスト誌面には、インタビュー結果が記されている。） 	校内の先生を紹介するために使用する写真や教師用カード（動作）
<p>T: Who is he? He can do <i>kendo</i> well. He can play soccer well. He is good at sports. He is good at cooking, too. Who is he?</p>			
10分	<p>【Let's Play 2】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に友達にインタビューして分かったことを、別の友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時にインタビューして友達について分かったことを、He / She can ~. He / She is good at ~. を使って、別の友達に伝えるよう言う。 ◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	児童用テキスト
7分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、音声に続いて4文を読む（発音する）。 自分のあこがれの人が得意なことを、ワークシートの動作のイラスト 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、第2時 Let's Read and Write で視聴した3文に加えて、She is good at playing the piano, too. を視聴し、音声に続いて読む（発音する）よう伝える。 ワークシートの動作のイラストから、自分のあこが 	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-3)

	<p>から1つ選んで、4線に書き写し、文を完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2時に完成させた文も加えて、ペアを相手に、4文を声に出して読む(発音する)。 ・本時までに仕上げたワークシートを参考に、ペアで自分のあこがれの人の情報を聞いたり、言ったりする。 	<p>れの人が得意なことで紹介したいことを1つ選んで○を付け、その語句を4線に書き写して、文を完成させる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">書き写す文例： She / He is good at (playing the piano).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時からの3枚のワークシートをもとにペアであこがれる人の情報を伝え合うように指示する。 ◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート分析〉 	<p>ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-3)</p>
5分	<p>OSounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.74, 75 の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 ・同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) ・最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(k から o で始まる単語) <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p>	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 9-8)</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

<p>5年 Unit 9—Lesson 4 単元名 Who is your hero? あこがれの人 4/8 時間</p> <p>目 標 自分や第三者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>準 備 校内の先生の写真など (Small Talk 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-4, 9-9), デジタル教材, 振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<p>・挨拶をする。</p> <p>OSmall Talk: 校内の先生</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p>	<p>校内の先生の写真など</p>
<p>Small Talk の例</p> <p>Ms. Tanaka is our principal. She is nice. She can speak Chinese. Can you speak Chinese? She can cook well. She is good at cooking Chinese food. She can play table tennis, too. Can you play table tennis? She is active and friendly. She is kind to me and you. She is a nice principal.</p>		<p>※写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	
	<p>【Let's Chant】 Who is your hero?</p> <p>p.67</p> <p>・音声に合わせてリズムよく言う。</p>	<p>・児童の実態により, スピードを選び一緒にチャンツを言う。</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p>		<p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p>	
10分	<p>【Let's Listen 3】 p.69</p> <p>・それぞれの選手ができそうなこと, 得意そうなことを予想し, 指導者の問いかけに続けて言う。</p> <p>She can play soccer / run fast. He can play tennis. She can play table tennis.</p> <p>・デジタル教材を視聴し, 聞き取ったことを誌面に記入する。</p> <p>・答えを確認し, 言えるところは指導者と一緒に言ってみる。</p>	<p>・児童用テキストの写真にあるスポーツ選手が誰かを確認し, それぞれがどのようなことができたり, 得意だったりするかを予想させ, デジタル教材を視聴させる。</p> <p>Kawasumi Nahomi, ... She can ...? She can play ...? She is good at ...?</p> <p>・答え合わせの際には, 答えの確認だけでなく, 音声に続けて指導者と一緒に言うよう促す。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>1. This is Kawasumi Nahomi. She is a soccer player. She can run fast. She is good at speaking Korean. She is cool. She is my hero.</p> <p>2. This is Kunieda Shingo. He is a wheelchair tennis player. He won a gold medal at the London Paralympics and a bronze medal at the Rio Paralympics. He can play wheelchair tennis very well. He is fantastic. He is my hero.</p> <p>3. This is Ishikawa Kasumi. She is a table tennis player. She was a bronze medalist at the Rio Olympics. She can play table tennis very well. She is great. She is my hero.</p>			

15分	<p>【Activity 1】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の得意なことやできること、性格などを児童用テキスト p.71 のチャートを参考に考える。 次に、ペア(1人目)とその情報を伝え合い、互いにその内容を誌面に記入する。 <p>・p.71のチャートを参考に、その友達に対する自分の思いも加えて、別の友達と伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のできることや得意なことを考えさせ、次に他者へ意識を向け伝え合うよう指示する。 ペアでやり取りをしてメモを取らせる。 <p>〈例〉 I am good at swimming. I can swim fast. I can play baseball. I am very active.</p> <p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いた情報をもとに、自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。 <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> あこがれの人やどんな人かをワークシート (Unit 9-4) のワードリストから1つ選んでシートに書き写し、英文を完成させる。 考えた文を声に出して読む。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">読む文例：She is (cool).</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1時から本時まで書き溜めたワークシートを参考に、自分のあこがれの人やどんな人の情報を友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> あこがれの人を表す語を選択肢の中から選び、書き写すように指示する。 第1時から4枚のワークシートをもとに、ペアであこがれの人の情報を伝え合うように指示する。 	ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-4)
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> p.74,75の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 同じ言葉で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) 最初の音に注目させ、デジタルでしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(p から t で始まる単語) <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

<p>5年 Unit 9—Lesson 5 単元名 Who is your hero? あこがれの人 5/8 時間</p> <p>目 標 自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>準 備 好きな有名人や大切な人・あこがれの人の写真など (Small Talk, Let's Listen 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-5, 9-10), デジタル教材, 振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物										
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 好きな有名人について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きな有名人の写真など										
<p>Small Talk の例</p> <p>Today, I have a picture of someone. (写真を手に児童に話しかけるが, 写真は見せない。) He is a comedian. Do you know the word “comedian”? I give you three hints. Hint No1. He is from Kansai. He is from Nara. Hint No2. He is good at playing soccer. He likes soccer very much. Do you know who he is? Any ideas? (児童に問いかけるが, ここでも正解は言わないで続ける。) Hint No3. His name means some kind of fish. Who is he? The answer is ... (写真を見せながら) 明石家さんまさん。He is funny and great. I always watch him on TV and enjoy his talk.</p>													
	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合わせて, 音源の速さを選んだり, パートに分け言わせたり, 指導者が手拍子をして言わせたりするなど, バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組みさせる。 											
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">This is my hero. He is Kosei.</td> <td style="width: 50%;">This is my hero. She is Kayo.</td> </tr> <tr> <td>He is my friend. He is twelve.</td> <td>She is my sister. She is fifteen.</td> </tr> <tr> <td>He can play basketball.</td> <td>She can play the flute.</td> </tr> <tr> <td>He can run fast.</td> <td>She can swim well.</td> </tr> <tr> <td>He is cool and nice to everyone.</td> <td>She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table>		This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.	He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.	He can play basketball.	She can play the flute.	He can run fast.	She can swim well.	He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.	<ul style="list-style-type: none"> Unit 5 のチャンツ (オプション: He can run fast. She can sing well.) をここで使うこともできる。 	
This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.												
He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.												
He can play basketball.	She can play the flute.												
He can run fast.	She can swim well.												
He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.												
10分	<p>【Let's Listen 4】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の大切な人, あこがれの人についての発表を聞く。分かったことを誌面に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵カードなどを使って, 指導者の大切な人やあこがれの人についてスピーチをする。 児童にとって, 単元最後のスピーチのモデルになるよう, ジェスチャーやアイコンタクトなども意識し, 話す内容も整理したスピーチを心掛ける。 	大切な人やあこがれの人の写真など 児童用テキスト デジタル教材										
<p>スピーチの例</p> <p>Who is your hero? This is my hero. (写真を見せる) Do you know him? Maybe not. (写真を黒板に掲示しその写真を示しながら) He is Kunio. He is my grandfather. He is a doctor. He is 85 years old. He can play the <i>Shakuhachi</i>, Japanese flute very well. He is a great player. He is good at skiing. He is kind to everyone. He is great. I like my grandfather very much.</p>													
	<ul style="list-style-type: none"> 書き取った内容をもとに, 指導者の話の内容を指導者の後に続けて文の形で言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせでは, 単語だけでなく児童を補助しながら文で確認をするとよい。 											

	<p>T: My hero is ...? T: He can play ...? T: He is good at ...? T: He is ...?</p>	<p>Ss: Kunio Ss: He can play the <i>Shakuhachi</i>. Ss: He is good at skiing. Ss: He is kind. He is great.</p>	
8分	<p>【Activity 1】 p.69 ・自分のできること、得意なことを、ペア(2人目)と伝え合い、互いにその内容を誌面に記入する。 ・児童用テキスト p.71 のチャートを参考に、その友達に対する自分の思いも加えて、別の友達と2人目のことについて伝え合う。</p>	<p>・前時に取り組んだ Activity 1 の後半をすることを告げる。自分のできることや得意なことを前時とは違う相手と伝え合い、メモを取らせる。 例 I am good at swimming. I can swim fast. I can play baseball. I am very active. ◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ・聞いた情報をもとに、別の友達に自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。 ・聞いた情報をもとに、自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。 ◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Listen 5】 p.70 ・登場人物が自分にとってのヒーローを紹介する音声を聞いて、分かったことをメモに取り、発表する。</p>	<p>・通して聞いた後、Hana の話について分かったことを誌面に記入させる。 ・答え合わせでは、単語ではなくできるだけ文で言うように促す。</p>	児童用テキスト デジタル教材
	<p>はな： This is my hero. He is Fujita Sho. He is my brother. He is sixteen. He can play basketball very well. He is good at dribbling. He can run fast. He is kind to me. He is my hero. かず： This is my hero. She is Maria. She is my friend. She is from Brazil. She can play soccer very well. She is good at math. She can speak English and Portuguese. She is very gentle. She is my hero.</p>		
5分	<p>OLet's Read and Write ・紹介したい人のことを、例を参考にしながら書く。書いたものを声に出して読んでみる。 ・今までに書いたものをもとに、友達に自分のあこがれの人について話を聞いてもらい、意見をもらう。</p>	<p>・例文に書かれた語句以外の言葉を使いたいと希望する児童もいると考えられる。その場合は、児童の自由な発想を受け止め、自主的な学習につなげたり、指導者が一緒に調べたりすることも考えられる。 ・補助の必要な児童の手助けをする。</p>	ワークシート (Unit 9-5)
	<p>書く文例： (She) is my hero.</p>		
5分	<p>OSounds and Letters ・児童用テキスト p.74,75 の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 ・同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線上に書く。</p>	<p>・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) ・最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(u から z で始まる単語)</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-10)
	<p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p>		
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 6	単元名 Who is your hero?	あこがれの人	6/8時間
目 標	あこがれの人の話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。 自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。		
準 備	家族や友達などの写真 (Small Talk 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-5, 9-11, 4線), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 家族や友達など</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>Small Talk の例</p> <p>This is my pet, Taiga. Not a tiger, but she is a cat. (写真を見せながら)</p> <p>She can jump high. (写真を見せながら) She can run fast.</p> <p>She is very cute. (写真を見せながら)</p> <p>She is good at catching cicadas. (写真を見せ、捕まえるジェスチャーをしながら)</p> <p>I like Taiga very much.</p> <p>Do you have any pets? What animal do you like?</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero?</p> <p>p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 家族や友達などについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 <p>児童の実態に合わせて、音源の速さを選んだり、パートに分け言わせたり、指導者が手拍子をして言わせたりするなど、バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組みさせる。</p>	<p>家族や友達などの写真</p> <p>デジタル教材</p>
	<p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Unit 5 のチャンツ (オプション: He can run fast. She can sing well.) をここで使うこともできる。 	
7分	<p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が自分のヒーローを紹介する音声聞いて、内容を理解する。 指導者の質問に答えながら、理解した内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面や画面を見せずに、デジタル教材で音声のみを聞かせる。 内容について確認するための質問をする。 <p>Who is Yumi's hero? She is ...? She is Yumi's ...? How old is she? She is ...? What can she do? She can play ...? She is ...?</p>	デジタル教材
	<p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero.</p>	<p>◎あこがれの人の話を聞き、できることや得意なことなど、どのような人かが分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	

20分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 前活動のスピーチなどを参考にして、今まで書いたワークシートをもとに自分のあこがれの人についてのスピーチ内容を見直し、話す文の順番を替えたり、新しい文を加えたりする。 これまで書き写してきたものを、相手に伝える目的をもち語順を意識しながら清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前活動 Activity 2 のスピーチや児童用テキスト p.72 を参考にして、今までワークシートに書き写してきたものをもとに、スピーチ内容を見直すよう伝える。 見直しが終わったら、相手に伝える目的をもって今まで書き写してきたものをもとに清書させる。その際、児童自身が書き写してきた文と Activity 2 (p.72) に記載のスピーチ英文を見比べて、文中のどこが置き換わっているのかに注目させることで、語順を意識させるようにする。 ◎音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を、相手に伝える目的をもち語順に注意しながら書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 	ワークシート (9-1~9-5, 4線)
7分	<p>【STORY TIME】 Unit 1~3</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問に答えたり、指導者について文を発音したり (読んだり) しながら指導者の読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Unit 1) Hi, my name is Kazu. I like cats and dogs. I like soccer and baseball.</p> <p>(Unit 2) Maria: Hi, everyone! Kazu: I'm eleven years old. My birthday is April 18th. It's a special day today. We have a new student.</p> <p>(Unit 3) Maria: Hello. Kazu: It's Monday today. Our first class is Japanese. Maria: Can you teach me Japanese? Kazu: Sure!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧表を映し、Unit 1 から Unit 3 を1ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声を聞かせてもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。 音声には、何度も聞き慣れた表現が出てくるので、児童の反応を見て、途中で質問を交えて児童の発話を促しながら読むようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>T: What's his name? How old is he? When is his birthday? What's her name?</p> </div>	デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 1~3) ワークシート (Unit 9-11) 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

<p>5年 Unit 9—Lesson 7 単元名 Who is your hero? あこがれの人 7/8時間</p> <p>目 標 自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。</p> <p>準 備 児童用テキスト、教師用カード（動作、状態・気持ち）、ワークシート（Unit 9-12, 前時に清書したスピーチ文）、デジタル教材、振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 児童の実態に合わせて、音源の速さを選んだり、パートに分け言わせたり、指導者が手拍子をして言わせたりするなど、バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組みさせる。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</td> <td>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> Unit 5 のチャンツ（オプション：He can run fast. She can sing well.）をここで使うこともできる。 	This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.	デジタル教材
This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.				
6分	<ul style="list-style-type: none"> ○誰のことかを考えて答える。 児童用テキスト p.71 Let's Play のチャートや、指導者の示す絵カードを見ながら、該当する先生や友達を答える。 状態や気持ちを表す語彙を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> チャートに出てくる動作のカードを黒板に掲示しながら語彙の確認をする。 状態や気持ちを表す8つの形容詞について、Who is friendly? と聞いて当てはまる児童や先生を考えさせたり、校内の先生について○○sensei is …? と問いかけて当てはまる語を考えさせたりして、口慣らしを十分にさせる。 	教師用カード (動作、状態・気持ち)		
8分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で映し出された英文を、音声が続いて読む。 ペアで、前時に清書したスピーチ文をそれぞれ読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、p.72 の誌面を映し出し1文ずつ音声を聞かせ、音声が続いて読む(発音する)ように伝える。 前時に清書したスピーチ文（ワークシート）をペアで読み合いさせる。 	デジタル教材 ワークシート (前時に清書したスピーチ文)		
15分	<p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、家族や友達など、自分のヒーローを紹介し合う。 違う相手とペアになって紹介し合う。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero. </td> </tr> </table>	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero.	<ul style="list-style-type: none"> 前時に清書したワークシートを参考にしながら、ペアで自分のあこがれの人について伝え合わせる。 ペアで伝え合った後、相手に伝えるためにはどんな工夫をするとよいかを考えさせた上で、違う相手とペアになって再度伝え合わせる。 <p>◎自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝えている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (前時に清書したスピーチ文)	
This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero.					

7分	<p>【STORY TIME】 Unit 4~6</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を目で追いながら読み聞かせを聞き、絵などを参考に読み方が推測できる単語は、一緒に読んでみる。 <p>(Unit 4) Maria: Do you have your math textbook? Kazu: Yes, I do. Here you are. Maria: Thank you, Kazu.</p> <p>(Unit 5) Kazu: Do you like math? Maria: Yes. I like math very much. Maria can do math very well.</p> <p>(Unit 6) At lunch time.... Maria: I have a brother. He is a junior high school student. We sometimes play soccer together.</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧を映し、Unit 4 から Unit 6 を1 ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声を聞かせてもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。 指導者が読む際には、できるだけ感情を込めたり、ジェスチャーなどを付けたりしながら、児童への質問を交えて読み聞かせを行うようにする。 絵をさして What is this? と尋ねるなど児童と英語でやり取りするようにする。 台詞の部分で児童が類推して読めそうなところは One, two. と促して一緒に読ませるようにする。 	デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 4~6) ワークシート (Unit 9-12) 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 8	単元名 Who is your hero?	あこがれの人	8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分のあこがれての人について、自分の意見を含めて伝えようとする。			
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-5, 9-11 ~ 9-13), デジタル教材, 振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物										
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. He is Kosei.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. She is Kayo.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He is my friend. He is twelve.</td> <td style="padding: 2px;">She is my sister. She is fifteen.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He can play basketball.</td> <td style="padding: 2px;">She can play the flute.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He can run fast.</td> <td style="padding: 2px;">She can swim well.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He is cool and nice to everyone.</td> <td style="padding: 2px;">She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table> </div>	This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.	He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.	He can play basketball.	She can play the flute.	He can run fast.	She can swim well.	He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 単元の総仕上げの意味も込め、バリエーションを加えて、児童と一緒に楽しくリズムののってチャンツを言う。 	デジタル教材
This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.												
He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.												
He can play basketball.	She can play the flute.												
He can run fast.	She can swim well.												
He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.												
25分	<p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のヒーローを紹介する。聞いている児童は、誌面に聞き取れたことをメモしたり、話者のどんな点がよかったかを記入したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の仕方は、全員の前で1人ずつ発表する方法や、5～6名のグループ内で1人ずつ発表する方法など、クラスの実態に合わせて工夫をするよい。 評価の視点や、目指すべき姿を事前に児童と共有しておく。 聞いている児童は、ワークシートに聞き取れたことをできるだけ記入するよう促す。 途中で一旦活動を止めて、中間評価を行う。よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 <p>◎他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-5) 児童用テキスト										
10分	<p>【STORY TIME】 Unit 7~9</p> <ul style="list-style-type: none"> 台詞や繰り返し音声で慣れ親しんだ文と一緒に読むようにする。 ペアで協力して、STORY TIMEのページを読むことに挑戦する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Unit 7) On our way home.... Maria: Where is the park? Kazu : Go straight and turn right. We can teach Maria about our town.</p> <p>(Unit 8) Later in the afternoon.... Maria: Hi, Kazu! Let's play soccer together. We have a great time, but....</p> <p>(Unit 9) I can teach Maria Japanese. Maria: Thank you, Kazu Kazu : You're welcome, Maria. I want to speak English more. We are good friends.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧を映し、Unit 7 から Unit 9 を1ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声でもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。 指導者が読む際には、できるだけ感情を込めたり、ジェスチャーなどを付けたりしながら、児童への質問を交えて読み聞かせを行うようにする。 絵をさして What's this? と尋ねるなど児童と英語でやり取りするようにする。 台詞の部分で児童が類推して読めそうなところは One, two. と促して一緒に読ませるようにする。 読むことを拙速に求めるのではなく、よく耳にした表現を頼りに、絵からの情報や、語の最初の文字の音から単語の読み方を類推しながら「少しでも読める」といった体験をさせるようにする。 読めたことを大いに褒めて、達成感をもたせるようにする。 	デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 7~9) 児童用テキスト ワークシート (Unit 9-11 ~ 9-13)										
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 パスポート表紙に記名をさせ、これを表紙にしてこ 	振り返りカード										

	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート (Unit 1-2 : パスポート) の姓と名の部分に自分の名前を書き, ワークシートをまとめて綴じる。・挨拶をする。	<p>れまでのワークシートをまとめて綴じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・挨拶をする。	ワークシート (Unit 1-2)
--	--	--	----------------------